

令和4年度 指定管理者管理運営状況評価表

所管課	産業経済課
-----	-------

1 公の施設

公の施設の名称	都市農村交流施設古民家松本邸
所在地	つくばみらい市筒戸2560番地1

2 指定管理者

指定管理者	団体名	特定非営利活動法人 古瀬の自然と文化を守る会	指定期間	開始日	令和4年4月1日
	所在地	つくばみらい市寺畑336番地1		終了日	令和7年3月31日
選定方法	非公募方式		評価実施年	指定期間 3年の内 1年目	

3 指定管理者の業務実績【指標：利用者数・利用者件数・稼働率】

施設利用状況を示す指標		単位	R4
①	施設利用者数	人	542

4 事業収支（単位：円）

市決算額		R4
歳入		0
歳出		1,277,000
実支出額		1,277,000

指定管理者収支		R4
収入	指定管理料	1,277,000
	計 (A)	1,277,000
支出	人件費	879,000
	燃料費	8,535
	消耗品費	38,542
	光熱水費	161,784
	通信運搬費	2,000
	保険料	11,720
	修繕材料費	53,440
	手数料	45,000
	事業経費	26,266
	資機材費	50,713
	計 (B)	1,277,000
差引収支額 (A) - (B)		0

令和4年度 指定管理者管理運営状況評価表

所管課	社会福祉課
-----	-------

1 公の施設

公の施設の名称	つくばみらい市総合福祉施設きらくやまふれあいの丘
所在地	つくばみらい市神生530番地

2 指定管理者

指定管理者	団体名	社会福祉法人 つくばみらい市社会福祉協議会	指定期間	開始日	令和2年 4月 1日
	所在地	つくばみらい市神生530番地		終了日	令和7年 3月31日
選定方法	非公募方式		評価実施年	指定期間 5年の内 3年目	

3 指定管理者の業務実績【指標：利用者数・利用者件数・稼働率】

施設利用状況を示す指標		単位	R4
①	施設利用者数	人	126,313

4 事業収支（単位：円）

市決算額		R4
歳入		0
歳出		114,035,000
実支出額		114,035,000

指定管理者収支		R4
収入	指定管理料	114,035,000
	事業収入	12,772,482
	その他	168,150
	計 (A)	126,975,632
支出	人件費	33,909,549
	保健衛生費	162,800
	光熱水費	31,182,391
	燃料費	4,973,793
	消耗品費	5,570,056
	修繕費	5,404,054
	業務委託費	36,013,774
	車両費	109,969
	賃借費	1,414,544
	通信運搬費	416,644
	租税公課費	2,368,000
	雑支出	28,000
	その他経費	780,771
計 (B)	122,334,345	
差引収支額 (A) - (B)		4,641,287

5 運営評価

【各項目ごとの採点方法】

評 価		評点（基礎項目）	評点（加算項目）
優れている	A	5	2
適正である	B	4	1
改善が必要である	C	3	
仕様書等が遵守されていない	D	0	

【総合評価の採点方法】

合計点	評価	総合評価の結果
92点以上	A	優れている
80点以上91点以下	B	適正である
79点以下	C	一部改善が必要である
Dがある場合	D	改善が必要である

《基礎項目（各5点）》

	No.	項目	評価・評点		理由等（主にB以外の評価の場合）
(ア) 実施体制に関する評価	1	適切な人員配置が行われたか。	B	4	
	2	職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	B	4	
	3	市個人情報保護条例の規定を遵守し、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びき損等の事故が起きていないか。	B	4	
	4	市情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または市から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	B	4	
	5	事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	B	4	
	6	市からの改善事項を受け適切な改善を行ったか。	B	4	
(イ) サービス等の内容や水準に関する評価	7	利用者アンケート等により、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取り組みが行われたか。	B	4	
	8	利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	B	4	
	9	利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	B	4	
	10	利用者数等の実績が目標値に達しているか。	C	3	目標値に達していないため。
	11	市民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	B	4	
	12	基準や計画に基づき事業が適切に行われたか。	A	5	事業計画に基づき、各種イベントやイルミネーションなど提案事業が多く実施することができたため。
	13	施設の保守、修繕等が適切に行われたか。	B	4	
	14	利用者が快適に施設を利用できるよう、清掃等が行われたか。	B	4	
(ウ) 収支等の評価	15	備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	B	4	
	16	省エネやゴミの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	B	4	
	17	金銭の管理が適正に行われたか。	B	4	
	18	指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	B	4	
	19	経費削減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	B	4	
	20	収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。※収益性が低い施設の場合：適正な収入が得られているか。	B	4	
合計（A）					80 点

《加算項目（2点）》

	項目	評価・評点		理由等（主にB以外の評価の場合）
自主事業の実施	効果的な自主事業が実施されているか。 【 】	—		
加算（B）				点

総合評価（A+B）	B	80 点
-----------	---	------

6 施設所管課の総評

施設及び付随設備の維持管理、利用料金の徴収業務、改修工事に伴う施設の管理運営を適正に行うなど、良好な事業運営がなされている。また、新型コロナウイルスの影響がある中、感染予防対策をしながらサービスの提供、事業を企画し実施することができた。
 今後は、施設利用者数を増やすため、例年実施していた様々なサービスの提供、イベントを実施していくとともに、既存サービスやイベントの改善、新しいイベントを企画し実施してほしい。
 施設利用者の大半が65歳以上であることから、若い世代の人が足を運びたくなるような工夫やイベントを模索し、より良い施設運営を図っていただきたい。

令和4年度 指定管理者管理運営状況評価表

所管課	みらいこども課
-----	---------

1 公の施設

公の施設の名称	つくばみらい市小絹児童館
所在地	つくばみらい市絹の台3-1-4

2 指定管理者

指定管理者	団体名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	指定期間	開始日	令和2年 4月 1日
	所在地	東京都豊島区東池袋1-44-3 池袋IPSビル7F		終了日	令和7年 3月 31日
選定方法	公募型プロポーザル		評価実施年	指定期間 5 年の内 3 年目	

3 指定管理者の業務実績【指標：利用者数・利用者件数・稼働率】

施設利用状況を示す指標		単位	R4
①	施設利用者数	人	20,018
②	【自主事業】こきぬ食堂	人	1160

4 事業収支（単位：円）

市決算額		R4
歳入		7,100,894
歳出		30,930,000
実支出額		23,829,106

指定管理者収支		R4
収入	指定管理料	30,930,000
	利用料収入	950
	事業収入	68,180
	その他収入	123,000
	計 (A)	31,122,130
支出	人件費	21,336,162
	報償費	20,000
	旅費	24,562
	需用費	2,942,160
	役務費	366,210
	委託料	2,145,437
	使用料・賃借料	25,212
	負担金	13,000
	事業費	225,473
	その他の経費	3,773,751
	計 (B)	30,871,967
差引収支額 (A) - (B)		250,163

5 運営評価

【各項目ごとの採点方法】

評価		評点（基礎項目）	評点（加点項目）
優れている	A	5	2
適正である	B	4	1
改善が必要である	C	3	
仕様書等が遵守されていない	D	0	

【総合評価の採点方法】

合計点	評価	総合評価の結果
92点以上	A	優れている
80点以上91点以下	B	適正である
79点以下	C	一部改善が必要である
Dがある場合	D	改善が必要である

《基礎項目（各5点）》

	No.	項目	評価・評点		理由等（主にB以外の評価の場合）
(ア)実施体制に関する評価	1	適切な人員配置が行われたか。	B	4	
	2	職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	B	4	
	3	市個人情報保護条例の規定を遵守し、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びびき損等の事故が起きていないか。	B	4	
	4	市情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または市から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	B	4	
	5	事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	B	4	
	6	市からの改善事項を受け適切な改善を行ったか。	B	4	
(イ)サービス等の内容や水準に関する評価	7	利用者アンケート等により、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取り組みが行われたか。	B	4	
	8	利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	B	4	
	9	利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	B	4	
	10	利用者数等の実績が目標値に達しているか。	C	3	利用者数は、大幅に回復したが目標値に達しなかったため。
	11	市民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	B	4	
	12	基準や計画に基づき事業が適切に行われたか。	B	4	
	13	施設の保守、修繕等が適切に行われたか。	B	4	
	14	利用者が快適に施設を利用できるよう、清掃等が行われたか。	B	4	
	15	備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	B	4	
	16	省エネやゴミの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	B	4	
(ウ)収支等の評価	17	金銭の管理が適正に行われたか。	B	4	
	18	指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	B	4	
	19	経費削減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	B	4	
	20	収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。※収益性が低い施設の場合：適正な収入が得られているか。	B	4	
合計（A）					79 点

《加点項目（2点）》

	項目	評価・評点	理由等（主にB以外の評価の場合）
自主事業の実施	効果的な自主事業が実施されているか。 【こきぬ食堂を毎月1回 80食/回程度を提供】	B	1
加点（B）			1 点

総合評価（A+B）	B	80 点
-----------	---	------

6 施設所管課の総評

利用者数は、目標に届かなかったが、令和元年度以来2万人を超えた。
 児童館は、積極的にイベントを企画し、地域の方に協力いただき連携して事業を実施している点が評価できる。
 子育て支援室は、引き続き市や関連機関と連携し、地域の子育て支援として地域住民に寄り添った事業展開をしていただきたい。
 引き続き、安全確保や職員体制整備に留意し、児童や保護者が楽しく参加できるイベント等を実施し、利用者数増加を目指してほしい。

令和4年度 指定管理者管理運営状況評価表

所管課	生涯学習課文化振興室、みらいこども課、図書館
-----	------------------------

1 公の施設

公の施設の名称（所在地）	つくばみらい市立みらい平コミュニティセンター（つくばみらい市紫峰ヶ丘4丁目4番地1） ※つくばみらい市立みらい平児童館、つくばみらい市立図書館みらい平分館含む つくばみらい市立小絹コミュニティセンター（つくばみらい市小絹848番地） ※つくばみらい市立図書館小絹分館含む つくばみらい市立谷井田コミュニティセンター（つくばみらい市谷井田1960番地） つくばみらい市立板橋コミュニティセンター（つくばみらい市板橋2675番地1）
--------------	---

2 指定管理者

指定管理者	団体名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	指定期間	開始日	令和2年 4月 1日
	所在地	茨城県牛久市栄町3-183 長谷川ビル2階		終了日	令和7年 3月31日
選定方法	公募型プロポーザル		評価実施年	指定期間	5年の内 3年目

3 指定管理者の業務実績【指標：利用者数・利用者件数・稼働率】

施設利用状況を示す指標		単位	R4
①	みらい平コミュニティセンター利用者数	人	52,219
②	児童館（みらい平）利用者数	人	24,581
③	図書館（みらい平）利用者数	人	29,851
④	子育て支援室（みらい平）利用者数	人	9,685
⑤	小絹コミュニティセンター利用者数	人	13,420
⑥	図書館（小絹）利用者数	人	7,670
⑦	板橋コミュニティセンター利用者数	人	17,538
⑧	出張子育て支援室（板橋）利用者数	人	51
⑨	谷井田コミュニティセンター利用者数	人	16,562
⑩	出張子育て支援室（谷井田）利用者数	人	105
⑪	講座、イベント参加者数	人	10,148
⑫	あさのいち・MIRAIDAIRAフリーマーケット（自主事業）	人	1,696

4 事業収支（単位：円）

市決算額		R4
歳入		8,115,634
歳出		124,530,000
実支出額		116,414,366

指定管理者収支		R4
収入	指定管理料	124,530,000
	利用料金収入	1,137,595
	事業収入	708,150
	その他の収入	80,000
	計（A）	126,455,745
支出	人件費	73,975,955
	報償費	1,346,538
	旅費交通費	85,960
	需用費	19,008,624
	役務費	601,541
	委託費	27,008,944
	使用料及び賃借料	2,906,908
	備品購入費	21,093
	負担金	14,300
	事業費	362,353
	一般管理費	6,210,704
計（B）	131,542,920	
差引収支額（A） - （B）		-5,087,175

5 運営評価

【各項目ごとの採点方法】

評価		評点（基礎項目）	評点（加点項目）
優れている	A	5	2
適正である	B	4	1
改善が必要である	C	3	
仕様書等が遵守されていない	D	0	

【総合評価の採点方法】

合計点	評価	総合評価の結果
92点以上	A	優れている
80点以上91点以下	B	適正である
79点以下	C	一部改善が必要である
Dがある場合	D	改善が必要である

《基礎項目（各5点）》

	No.	項目	評価・評点		理由等（主にB以外の評価の場合）
(ア)実施体制に関する評価	1	適切な人員配置が行われたか。	B	4	
	2	職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	B	4	
	3	市個人情報保護条例の規定を遵守し、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びき損等の事故が起きていないか。	B	4	
	4	市情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または市から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	B	4	
	5	事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	B	4	
	6	市からの改善事項を受け適切な改善を行ったか。	B	4	
(イ)サービス等の内容や水準に関する評価	7	利用者アンケート等により、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取り組みが行われたか。	A	5	自主事業による予約システムの構築及びみらい平コミュニティセンターへのWi-Fi設備導入のため。
	8	利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	B	4	
	9	利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	B	4	
	10	利用者数等の実績が目標値に達しているか。	B	4	一部目標未達の施設については、利用者増加に向けて改善を図ること。
	11	市民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	B	4	
	12	基準や計画に基づき事業が適切に行われたか。	B	4	
	13	施設の保守、修繕等が適切に行われたか。	B	4	
	14	利用者が快適に施設を利用できるよう、清掃等が行われたか。	B	4	
(ウ)収支等の評価	15	備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	B	4	
	16	省エネやゴミの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	B	4	
	17	金銭の管理が適正に行われたか。	B	4	
	18	指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	B	4	
	19	経費削減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	B	4	
	20	収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。※収益性が低い施設の場合：適正な収入が得られているか。	B	4	
合計（A）					81 点

《加点項目（2点）》

	項目	評価・評点	理由等（主にB以外の評価の場合）
自主事業の実施	効果的な自主事業が実施されているか。 【あさのいち・MIRAIDAIRAフリーマーケット】	B 1	
加点（B）			1 点

総合評価（A+B）	B	82 点
-----------	---	------

6 施設所管課の総評

<p>【コミュニティセンター】 自主事業として、利用者から非常に多くの要望があったネット予約システムの構築及びみらい平コミセンへのWifi設備の導入など、利用者ニーズへの対応は大いに評価できる。今後も引き続き、運営委員会やアンケートによる意見・要望を反映させた施設運営を行い、コミュニティセンターの利用者増加に向けて取り組んでいただきたい。</p> <p>【図書館】 コロナ禍の中、令和4年度の図書館利用者数目標を大幅に達成することができたことは評価できる。イベントについては、コロナ禍による未実施から人数制限を設ける等規模を縮小しての実施の方向に変わった。参加者数はコロナ禍前の人数に戻ってきている。引き続きマンネリ化防止のための検討や改善を含めた、新しいイベントの企画・実施、既存イベントの創意工夫に力を入れ、さらに図書館の利用促進に繋がるよう尽力してもらいたい。</p> <p>【児童館】 目標値には達しなかったものの、令和3年度と比較し、利用者が約5,000人増えた。イベントの参加者数が増え好評を得ていること、施設的环境や職員の対応など好評を受けていること、対応可能な要望については随時対応していることは評価できる。利用者の意見を参考にマンネリ化しない工夫を行い、目標達成に向けて取り組んでいただきたい。</p> <p>【子育て支援室】 子育て支援室は、地域の子育て拠点として、重要な役割を担っている。市民のニーズに合ったイベントの実施や市と各子育て支援室が合同で実施するイベント等への参加など、関連機関と連携した取り組みについては大変評価できる。今後も市や関係機関と連携をしてより良い事業展開に努めていただきたい。</p>

令和4年度 指定管理者管理運営状況評価表

所管課	生涯学習課スポーツ推進室
-----	--------------

1 公の施設

公の施設の名称（所在地）	つくばみらい市総合運動公園（つくばみらい市小針1770番地） つくばみらい市古川テニスコート（つくばみらい市古川1027番地） つくばみらい市城山運動公園（つくばみらい市田村66番地1） つくばみらい市谷和原武道館（つくばみらい市古川953番地1）
--------------	---

2 指定管理者

指定管理者	団体名	特定非営利活動法人日本スポーツ振興協会	指定期間	開始日	令和4年4月1日
	所在地	茨城県つくば市大角豆1744		終了日	令和9年3月31日
選定方法	公募型プロポーザル		評価実施年	指定期間 5年の内 1年目	

3 指定管理者の業務実績【指標：利用者数・利用者件数・稼働率】

施設利用状況を示す指標	単位	R4
① 施設利用者数（4施設）	人	91,873
② スポーツ教室等（自主事業）	人	1,857

4 事業収支（単位：円）

市決算額	R4
歳入	540,936
歳出	50,684,000
実支出額	50,143,064

指定管理者収支		R4
収入	指定管理料	50,684,000
	利用料金収入	7,222,250
	その他収入	73
	計（A）	57,906,323
支出	人件費	22,805,148
	消耗品費	526,476
	燃料費	26,419
	印刷製本費	134,285
	光熱水費	9,044,127
	修繕費	2,016,685
	通信運搬費	223,147
	手数料	84,810
	火災保険料	148,709
	施設維持管理委託料	15,871,870
	使用料・賃借料	404,509
	原材料費	69,300
	備品購入費	71,754
	公共予約システム負担金	187,657
	租税公課費	2,401,000
	一般管理費	2,000,000
	利用料還付	596,850
計（B）	56,612,746	
差引収支額（A） - （B）		1,293,577

5 運営評価

【各項目ごとの採点方法】

評価		評点（基礎項目）	評点（加点項目）
優れている	A	5	2
適正である	B	4	1
改善が必要である	C	3	
仕様書等が遵守されていない	D	0	

【総合評価の採点方法】

合計点	評価	総合評価の結果
92点以上	A	優れている
80点以上91点以下	B	適正である
79点以下	C	一部改善が必要である
Dがある場合	D	改善が必要である

《基礎項目（各5点）》

	No.	項目	評価・評点		理由等（主にB以外の評価の場合）
(ア)実施体制に関する評価	1	適切な人員配置が行われたか。	B	4	
	2	職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	B	4	
	3	市個人情報保護条例の規定を遵守し、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びびき損等の事故が起きていないか。	B	4	
	4	市情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または市から情報提供の求めがあった場合は適切で速やかな対応が行われたか。	B	4	
	5	事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	B	4	
	6	市からの改善事項を受け適切な改善を行ったか。	B	4	
(イ)サービス等の内容や水準に関する評価	7	利用者アンケート等により、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取り組みが行われたか。	C	3	アンケートの実施については、積極的なアクションが見られなかったため。
	8	利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	B	4	
	9	利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	B	4	
	10	利用者数等の実績が目標値に達しているか。	B	4	
	11	市民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	B	4	
	12	基準や計画に基づき事業が適切に行われたか。	B	4	
	13	施設の保守、修繕等が適切に行われたか。	B	4	
	14	利用者が快適に施設を利用できるよう、清掃等が行われたか。	B	4	
	15	備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	B	4	
	16	省エネやゴミの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	B	4	
(ウ)収支等の評価	17	金銭の管理が適正に行われたか。	B	4	
	18	指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	B	4	
	19	経費削減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	B	4	
	20	収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。※収益性が低い施設の場合：適正な収入が得られているか。	B	4	
合計（A）					79 点

《加点項目（2点）》

	項目	評価・評点		理由等（主にB以外の評価の場合）	
自主事業の実施	効果的な自主事業が実施されているか。 【 スポーツ教室等 】	-	-	指定管理1年目ということもあり、計画通りに事業を実施できなかったため。	
加点（B）					- 点

総合評価（A+B）	C	79 点
-----------	---	------

6 施設所管課の総評

指定管理1年目ということもあり、運営管理に苦慮する部分もあったと思うが、大きなトラブルもなく運営することができた。施設年間利用者数も目標値をクリアすることができたが、更なる利用者数の増加を目指し、HPやSNSを用いた情報発信を充実させるとともに、アンケートの内容についても担当課と協議し、利用者サービスの向上につながる内容としてほしい。また、自主事業については市民のニーズをつかみ需要の高いメニューを実施するほか、稼働率の悪い施設を有効に活用して施設利用者の増加につなげていただきたい。あわせて、市や各スポーツ団体とも連携をして事業を実施していただきたい。